

教育カウンセラー沖縄

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ 2階 201

代表：川上 啓一

2020年4月、学校の休校やイベントの自粛、外出の制限など、大人にも、子どもにも、新型コロナウイルスによる影響が日々広がっております。会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。1日も早く、平穏な日常が戻り、子どもたちの笑い声が学校や地域にあふれることを祈念しております。

北海道教育カウンセラー協会SGE担当理事の瀬尾尚隆氏は、「しっかりとお別れができない。学年や学級に想いを持っていることがあっても、引きずっている子がいることが予想されます。このことを踏まえながら、新年度の学年や学級開きを考えるべきだと思います。また、しだいに収束の方向に向かうと思いますが、新型コロナウイルスに対する対策は、忘れてはならない事です。昨日まで、しつこく言っていたことが、急に全く問題ないにはなりません。これらのことを考えると、**通常の学級開き（出会いと関係づくり）に加えて、ストレスへの対処、過去にとらわれている気持ちを、未来志向に変えていくことを丁寧にしていけないといけないと考えています。**」ということで、北海道教育カウンセラー協会の大友秀人代表はじめ有志と共に、『**新型コロナウイルスによる学級閉鎖から新学期に向けて 学級作り実践ガイド<北海道発>**』を制作し、ホームページからダウンロードできるようにアップされています。

又、不安を感じている多くの人達に向けて、国立研究開発法人 国立成育医療研究センター・こころの診療部から「**新型コロナウイルスと上手に付き合っていくために**」というリーフレットが発行されており、ダウンロードできるようになっています。とてもかわいいイラストがついていてわかりやすいです。

○ご家族向けリーフレット（一般編）

○親子でできるストレスコーピング

「**沖縄県発達障がい者支援センター がじゅま〜る**」のホームページにも「**新型コロナウイルス感染症に関するチラシ**」がアップされていて、子どもにわかりやすくコロナに関する情報が紹介されています。

他には、3団体の共同のメッセージとして、「**子どもに関わるすべての方々へ 感染症対策下における子どもの安心・安全を高めるために**」というPDFが掲載されており、リンクフリーとなっております。3団体とは 一般社団法人 日本臨床心理士会災害支援プロジェクトチーム
一般社団法人 日本公認心理師協会災害支援委員会
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
です。それぞれのホームページからアクセスすることができます。

少し専門的なものとして、**一般社団法人日本心理臨床学会**のホームページから「**新型コロナウイルス対応に関する情報**」もご覧ください。

子どもたちとの日常が戻った時のために、学びにしる、体力づくりにしる、リラックスしたり、好きなことをして英気を養ったり、今、自分自身ができることをしましょうね。

1：教育カウンセラー養成講座終了！

2020年2月22日（土）、23日（日）、24日（月・祝）の3日間を通して教育カウンセラー養成講座が開催されました。

初級コース42人、グレードアップコース3人、部分受講として27人、中級受験者は5名でした。今回の参加者の皆さんが今後も学びを継続し、更にブラッシュアップされることを期待しております。私も沖縄教育カウンセラー協会は、常に会員の皆さんの学びを応援していきたいと思っております。これからも一緒に学んでいきましょう。よろしくお願いいたします。



＜A基礎コース＞

①「構成的ウーループエンカウンター」 上級教育カウンセラー・SGE公認リーダー 神保しげみ

- ・相手に自分のことをゆだねるワークは、意外とこわいなと思いました。体験する前は「大丈夫」と思っていたのですが、実際にやってみると不安を生じるのだと感じました。面白い体験でした。
- ・SGEは新年度にやるイメージがあったが、“ふれあいと自己発見”を通した行動の変容をねらうものであれば、時期を問わず、適宜行うことができると感じた。また、大人よりも子どもたちの方が率直に語り合ったりできそうなので、是非現場で活かしていきたい。
- ・他者からのフィードバックにより、自己の偏りを知ることは相手を傷つけないための予防になるということ。すると、自ずと相手を受容する心になれるのかなと思った。

②「教師のメンタルヘルス」（A・B合同） 武南高等学校教諭兼スクールカウンセラー 吉田隆江

- ・“多くは吐き出すことが大事” 子どもの“吐き出し”をとめている自分に気づきました。反省。吐き出してもらって、受けとめられる器になりたいです。
- ・心理的に自由を持てる人はストレスの対処能力が高い。物理的に不自由でも心は自由。
- ・まずは自分自身が元気で（心も身体も）いることが大切。それによって子どもも同僚もサポートできる基礎になる。まずはセルフケア、自分自身に気づけるようにしたいです。
- ・支援者が自部のストレスに気づき、ケアができないと子どもや保護者を支援できない。自分自身のイラショナルビリーフに気づくこと！

③「教師・援助者のための論理療法」 早稲田大学教授 河村茂雄

- ・人の思考は人の生き方に大きな方向性をみいだすことがわかりました。まわりの環境や意見は器であるだけで、それをステキにしていくのは自分自身だということを理論的に知ることができた。
- ・チャレンジすること！ やらなかつた後悔よりやってみて失敗した方がいい。その失敗から学べばいい。いつも最初の一步が踏み出せず慎重な私ですが、これからはこの言葉を思い出してチャレンジします！自分の人生をより良くするために。自分も周りもハッピーになるために！
- ・今日、河村先生にお会いして改めて自分のことを客観的にふり返って分析できましたし、今後の目標がみえてきました。モヤモヤしていたことついてスッキリしています。出会いに感謝しております。たくさんのお話に引き込まれていきました。とても身近で育ててくれた祖母を思い出したたかな気持ちになりました。今日の学びをひとつひとつ実践に活かしていきたいと思えます。

④「主体的学びを促すインクルーシブ学級集団作り」(A・B合同)

早稲田大学教授 河村茂雄

- ・「現実の実態によって支援を変えていかないといけない。それがプロ」という言葉が印象的です。
- ・15の行動を知ることができてよかったです。私もこれができる人を目指します。「アドボカシー」という言葉を初めて知りました。それが自然にできる人になりたい。
- ・自立は2つ。自分でできる事は自分でやる！ できない事は支援を受けながら。
- ・変わった子、ちょっと失敗した子の行動を叱るんじゃなく、笑いに変える先生の力が、インクルーシブ教育をする教師に必要な力だと知りました。
- ・特別に支援が必要なこのための教育ではなく、すべての子の承認をみたくすように行う。

⑤「教育カウンセリング概論」

琉球大学非常勤講師 仲村将義

- ・一時対応で学級集団をアセスメントして育 — 2 — 二次対応。教師に求められるスキルは多くて大変だな～。その為にも研修等で学ぶ大切さに気
- ・教育カウンセリングで「ソーシャルスキル」は、行動の仕方、訓練、教育が大切で、「ナンパ」の生徒へのていねいな導き方がとてもしました。
- ・心理的離乳という言葉はなるほどーと思いました。問題の中にこれが一番大きく作用しているなど感じる事が多々あります。ていねいに天然だしを出していけるように関わりたいです。くまとギリシャのおじいさんの話しも理解しやすかった。伝えていきたい。
- ・保護者への責任というところで、保護者から預かっているという認識を常にもたないとなど思った。現場で生徒、職員との関わりより、保護者との関わり、対応の方が一番難しいと感じます。どんな内容であっても対立せず、協力者として寄り添っていきたい。

⑥「非行・いじめへの対応」

NPO 日本教育カウンセラー協会理事 藤川章

- ・言葉は人を幸せにすることも、不幸にすることも出来る。大切に、ていねいに、伝わる、役立つように使いたいと思います。
- ・非行についての理論について初めて知りました。ソーシャルボンド理論…勉強してみようと思いました。 ワンネス → ウイネス → アイネス 心に留めて関わりたいと思います。
- ・藤川先生の熱い講義を聞いて、生徒指導や教育カウンセリングに対する気持ちがひしひしと伝わってきました。生徒と関わっていく中で、厳しい助言を行う中で、ワンネスの気持ちを大切にすると、生徒に伝わるものがあったのでは…、という言葉が印象的でした。私もそのような教師になりたいと改めて感じます。

《グレードアップコース》

①「構成的グループエンカウンターの実践と留意点」

武南高等学校教諭兼スクールカウンセラー 吉田隆江

- ・“一人ひとりの自己決定能力を信じる” “直そうとするな、分かろうとせよ” を知ってはいましたが、できていない自分を再確認しました。子どもたち自身の力を信じて待つ姿勢を忘れないようにしたいです。
- ・普段の生活・行動・言葉、すべてがSGEにつながる事が、とても心に響きました。
自分の中に理論がちゃんと定着していない事がわかり、反省しています。もっと勉強が必要です。理論と実践を丁寧!!

・「SGEを日常に生かすこと」「一人ひとりを大切にすること」先生の温かさが伝わる講義でした。人はつなぐを求めている。自分も温かい集団、優しい集団をSGEで育てていきたいです。

② (A・B合同)「教師のメンタルヘルス」 武南高等学校教諭兼スクールカウンセラー 吉田隆江

③「実存主義的アプローチ」 琉球大学准教授 草野智洋

・初めて聴く「ロゴセラピー」でしたが、ふっと心に落ちた感じがしました。まずは、自分自身が何が大切で、何がしたいのか、どう生きていきたいのか、ずっと問い続けていて…。自分で答えを見つけたと思います。3割でOK。

・フランクルの考え方、生き方について学べて良かったです。一つ一つその時の意味のある行動を選択することで人生が意味のある人生に近づいていくというのが、印象に残りました。

・不登校児への対応の際、学校に行くことの意味だけでなく、学校に行かないことの意味についても、これからは考えていきたい。

・「変えることのできない不幸を引き受けて、それでも人生にイエスという」言葉は私にとって人生の”意味“を考える機会になった。

④「主体的学びを促すインクルーシブ学級集団作り」(A・B合同) 早稲田大学教授 河村茂雄

⑤「クライシスカウンセリング」 NPO 日本教育カウンセラー協会理事 藤川章

・クライシスカウンセリング…危機的状況でも、頭は冷静に、子どもたちの命、安心のために、私は正しい行動がとれるか、不安でした。ロールプレイを通して体験できたことが、冷静に行動できる大切さを実感しました。どんなに未然防止、初期対応に努めても、自然災害などさけられない事もある。その時には今日のような勉強会が本当に必要だと感じました。参加できて本当によかったです。

・危機的状況で問われるのは、日常の職員間の関係性、教師と生徒、保護者との関係性が問われると思います。カウンセリングマインドを生かした日頃の関わりがあれば、危機的状況も、集団の力で乗り越えられると信じています。

・教育現場では保護者との関わりが大きい。最近ラインで保護者がつながっていることも考え、「知るべき人は知り、知るべきでない人は知らない」時限秘の考えが大切であると思った。

⑥「内観—幸せを作る3つの問い—」 琉球大学非常勤講師 仲村将義

・内観に興味はありましたが、抵抗も少しありました。しかし、先生の体験などの話がきけて大丈夫かなと思いました。あらためてするのはなく、気楽に日常で子どもたちにもできるかなと思いました。

・実際に体験してみて気づかされる事がいっぱいあった。普段から日常的に内観できるといいなと思います。“自分も一緒に横の関係で”というのがいいと思いました。

・「内観の3つの質問は自分に対してでも日々できる」というのはよかったです。日々できるためのツールを作りたい。

・感謝の気持ちをもつ。人間関係をよくするということのスキルにぜひ必要だと思う。



《全体を通しての感想や協会への要望》

- ・「教育カウンセラー」の認定を、今回の講座では点数が足りなくて正直まずは勉強だけでもと思ってました。でも、河村先生の「勉強をしたら形に残すことは大事」との言葉で続けていくことに意欲が湧きました。
- ・「やっぱりワンネス！」に支えられる理念の深さに感動しました。そういう支援者、援助者になりたいです。
- ・とても為になる講座ばかりでした。充実した3日間をありがとうございました。

2：「中級教育カウンセラー」を目指す方へ

年に1回の養成講座において「初級教育カウンセラー」と「中級教育カウンセラー（以後中級）」の資格取得のための試験を受けることができます。「中級」受験のためには前もっての準備が必要です。日本教育カウンセラー協会のホームページには中級の受給権資格として2点をあげております。

- ①スーパービジョンの記録が最低1ケース以上あり、記録票(様式S-4-1)を提出済みまたはできる
- ②著作物を1編提出済みまたはできる者（発表済・未発表のいずれでもかまわない）

また、試験内容としては、以下の通りです。

- ①筆記試験（初級・中級テキスト内容）
- ②面接技法に関するロールプレイ・個別口頭試験

スーパービジョンのための事例レポートの作成は結構大変です。レポートを作成し、スーパービジョン記録票をまとめ、それからやっと上級教育カウンセラーからスーパービジョン（指導）を受け、そのアドバイスを基にレポートや記録票を書き直し完成させるという流れ（レポート作成よりスーパービジョンが先になる場合もあります）を経なければなりません。

事例・研究レポートの書き方やスーパービジョン記録表（PDF）は、日本教育カウンセラー協会のホームページから「教育カウンセラーの認定」のアイコンをクリックして、閲覧・ダウンロードすることができます。

今、少し時間のある時に準備しておくのは如何ですか？ 8月の夏期講座においても「事例報告書のまとめ方」という講座を企画しています。

スーパーバイザー（上級教育カウンセラー）への依頼の仕方等、ご不明な点等ありましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください。

3：仲村将義先生による「ティーチャーズ・ペアレント勇気づけ養成講座」

- 内容 1. 参加者同士での相互尊敬・相互信頼・相互協力の関係づくりのスキルをトレーニングする
2. 小グループのリーダーは、トレーナーとしてのスキルを学ぶ

期 日：全9回 原則隔週土曜日 時間：午後1時30分～3時30分

予定 6/27・7/4・7/18・8/1・8/22・9/5・9/19・10/3・10/17

*（コロナが終息していない場合は、変更の可能性あり）

参加費：8千円（全9回分を第1回時に納入） ※会員6千円（当日入会可・年会費3千円）

場所：後日連絡

申込先：NPO沖縄教育カウンセラー協会 TEL：098-851-5257 FAX：098-851-5258

メール：jecaokinawa@ote.jp

4：学習会について

以下の3つの学習会を予定しておりますが、今後新型コロナウイルスの状況により変更の可能性があります。日程等につきましては、事務局までお問い合わせください。

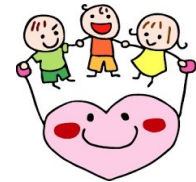
①スクールカウンセラー勉強会

担当：波平 利美 他

内容：スクールカウンセラーとして活動している会員の学びあい

期日：ふた月に1回程度

場所：なは市民活動支援センター2階



②教育カウンセリング標準テキスト勉強会「ていんがあら」

担当：濱川尚子 仲里直美 仲村芳美

内容：標準テキストの学習

期日：毎月第4土曜日 14:00～17:00

場所：なは市民活動支援センター2階

連絡先・問い合わせ：仲里直美（伊良波中学校）

メール naomi_nakazato@yahoo.co.jp



③構成的グループエンカウンター学習会「といろの会」

世話人：照屋初美 仲里直美

内容：構成的グループエンカウターの理論と実践を学ぶ

期日：奇数月 第2土曜日 10:00～13:00 初回は7月11日

場所：男女共同参画ハーモニーセンター（浦添市）

連絡先・問い合わせ：照屋 初美



5：研修のご案内

講座名：発達支援コーチ【初級】講座

内容：～発達障害も発達する～

○発達支援コーチの前提 ○発達のピラミッド ○無意識感覚（前庭覚・固有受容感覚・触覚）

○恐怖麻痺反射・モロー反射の概要と統合遊び ○原始反射とビジョンへの影響等

期日：2020年8月29日（土）、8月30日（日）＊（コロナが終息してない場合は、変更の可能性あり）

時間：午前10時～午後6時

受講料：40,700円（テキスト代、修了証発行、消費税込み）

＊講座修了者は【発達支援コーチ（初級）認定試験】を受けられる

場所：後日連絡

申込先：NPO沖縄教育カウンセラー協会

TEL・098-851-5257 FAX：098-851-5258

メール：Jecaokinawa@ote.jp

又は北谷町教育委員会 学校教育課 仲村將義

メール：ssw@chatn.jp（メールのみ対応）

6：金城先生からのメッセージ

夏期講座に昨年の講演会で好評でした金城隆展先生の講座を企画しています。その、金城先生から「新型コロナウイルス感染症にどう向き合うべきか?」というメッセージを頂きました。機関紙と共に同封したので、どうぞ目を通してください。

